

社会福祉系学会連合ニュース (2022年3月号)

1. ご挨拶

湯澤 直美 (日本社会福祉系学会連合会長)

新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) の影響が長期化するなか、ロシアによるウクライナへの武力侵攻という世界の平和と安全を根底から掘り崩し、人々の生命と尊厳を無尽蔵に奪う破壊的暴力を行使する深刻な事態が発現しました。一刻も早い停戦と平和的な解決を望みます。

さて、コロナ禍を契機とした社会変化に伴い、学術の社会的な役割の重要性やその推進力・発信力が問われるようになってきております。今号の学会連合ニュースおよびホームページには、各加盟学会の2022年度の全国大会情報が掲載されております。人口減少地域におけるソーシャルワーク、災害救援者のサポートシステムの構築、人の生 (life) を支える在宅ケア・在宅リハビリテーション、格差解消社会へのアプローチなど、多様な大会テーマが掲げられています。いずれもがこの時代の要請に応答するとともに、近未来を切り開く学術の知となる取り組みであると感じます。ぜひ、大学院生などにも、この連合の存在をお知らせいただき、次世代の研究者のエンパワーメントにも繋げていただければ幸いです。

本連合との関わりも深い、日本学術会議での新しい取り組みのひとつとして、「パンデミックと社会に関する連絡会議」の設置についてご紹介します。この連絡会は、「学術の諸科学の専門知を効果的に連携し、総合的、俯瞰的な検討を進めることは日本学術会議の役割である」という観点から、「現在 COVID-19 感染への対応に加えて、中長期的な視点で with/post コロナにおける医療体制や社会の在り方について議論を深め、政府や社会に貢献する」ことを目的として設置されたものです。人文・社会科学、生命科学、理学・工学の各分野の科学者が分野横断的な審議を進め、「パンデミックに耐えられるレジリエントな社会を視野に入れた議論も展開」することから、COVID-19 に関連する審議等を行っている委員会や分科会の代表者によって構成されています。社会学委員会社会福祉学分科会からも参画しています。詳細は、次の HP より閲覧することができますので、ご参照ください。

<https://www.scj.go.jp/ja/member/iinkai/pandemic/index.html>

本年5月に開催される連合の総会にて、今期の運営委員会は2年間の任期が満了となります。運営委員の諸先生方のご尽力に対して、厚く御礼申し上げる次第です。社会正義、人権、集団的責任、多様性尊重といったソーシャルワークの基本原則が益々重要性を帯びるなかにあつて、社会福祉系学会の連合体である本組織の活動が、持続的に発展していくことを願うとともに、加盟学会のますますの発展を祈念して、ご挨拶とさせていただきます。

2. 加盟学会の2022年度学術大会日程

本連合では、加盟学会の2022年の学術大会等の情報を集約し、各学会の日程の設定がスムーズに行われるとともに、会員の方々が計画的に学術集会等に参加できるよう努めています。学術大会等の最新情報は加盟学会より情報をいただき次第、本連合のHPに掲載いたします。以下に日程の概要をお知らせいたします。

学会名	大会情報
社会事業史学会	社会事業史学会第50回記念大会 大会日程：2022年5月14日（土）-15日（日） 開催場所・方法：WEB開催 テーマ：学会50年の回顧と展望
日本介護福祉学会	第30回日本介護福祉学会大会 大会日程：2022年10月9日（日） 開催場所・方法：白梅学園大学（※WEB開催） テーマ：多様なケアから介護福祉学を問う—地域共生社会を見据えて
日本家族療法学会	一般社団法人日本家族療法学会第39回淡路島大会 大会日程：2022年9月16日（金）-17日（土） 18日（日）大会ワークショップ 開催場所・方法：兵庫県立淡路夢舞台国際会議場 テーマ：家族への信頼、会話への信頼 ～希望を育むコミュニケーションに向けて～
日本看護福祉学会	第35回日本看護福祉学会学術大会 大会日程：2022年9月3日（土）-4日（日） 開催場所・方法：国際医療福祉大学小田原キャンパス（神奈川県） テーマ：“コロナ”時代を生きるためのエネルギーの発掘（仮）
日本キリスト教社会福祉学会	詳細は学会HPをご覧ください→ http://www.jacsw.com/
日本子ども家庭福祉学会	日本子ども家庭福祉学会第23回全国大会 大会日程：2022年6月11日（土）-12日（日） 開催場所・方法：同朋大学（愛知県） テーマ：未定
日本在宅ケア学会	第27回日本在宅ケア学会学術集会 大会日程：2022年7月30日（土）-31日（日） 開催場所・方法：一橋大学（東京都）／ハイブリッド開催 テーマ：ひとの生（life）を支える在宅ケア・在宅リハビリテーション
日本社会福祉学会	日本社会福祉学会第70回春季大会 大会日程：2022年5月29日（日） 開催場所・方法：法政大学（東京都） テーマ：格差社会解消へのアプローチを求めて
	日本社会福祉学会第70回秋季大会 大会日程：2022年10月15日（土）-16日（日） 開催場所・方法：関西福祉科学大学（大阪府） テーマ：新たな日常と社会福祉—「つながり」の未来を見据えて—
日本司法福祉学会	2022年度日本司法福祉学会全国大会 大会日程：2022年11月～12月（未定） 開催場所・方法：東京都内（予定） テーマ：未定

日本社会福祉教育学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ https://www.jsswe.org/
日本社会分析学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ http://jsasa.org/index.cgi
日本職業リハビリテーション学会	日本職業リハビリテーション学会第 49 回宮城大会 大会日程：2022 年 8 月 26 日（金）-27 日（土） 開催方法・場所：WEB 開催 テーマ：検討中
日本精神障害者リハビリテーション学会	日本精神障害者リハビリテーション学会 第 29 回大会 大会日程：未定 開催場所・方法：オンライン大会 テーマ：未定
日本ソーシャルワーク学会	日本ソーシャルワーク学会第 39 回青森大会 大会日程：2022 年 7 月 2 日（土）-3 日（日） 開催場所・方法：青森県立保健大学（青森県） テーマ：人口減少地域におけるソーシャルワークの創造性（仮）
日本地域福祉学会	日本地域福祉学会第 36 回大会（福岡大会） 大会日程：2022 年 6 月 11 日（土）-12 日（日） 開催場所・方法：完全 WEB 開催（配信拠点：西南学院大学） テーマ：ポストコロナ時代に向けた地域福祉のあり方を探る
日本福祉介護情報学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ https://www.jissi.jp/
日本福祉教育・ボランティア学習学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ http://www.jaass.jp/
日本福祉文化学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ http://fukushibunka.hippy.jp/
日本仏教社会福祉学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ http://jaswas.wdc-jp.com/~jabsws/
日本保育ソーシャルワーク学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ https://jarccre.jimdo.com/
日本保健医療社会福祉学会	詳細は学会 HP をご覧ください→ http://jsswh.umin.jp/
日本保健福祉学会	第 35 回日本保健福祉学会学術集会 大会日程：2022 年 10 月 1 日（土） 開催場所・方法：龍谷大学瀬田キャンパス テーマ：災害救援者のコミュニティ・メンタルヘルス・サポート・システム構築に向けてースピリチュアリティを含めた支援を中心にー

※なお、上記は 2022 年 3 月時点の情報です。新型コロナウイルス感染症の拡大等により、予定が変更となる可能性がございますので、詳細は随時各学会 HP をご覧ください。また、現地大会へご参加の際は、感染予防対策へのご協力をお願いします。

3. 加盟学会紹介（日本子ども家庭福祉学会、日本保健医療社会福祉学会）

社会福祉系学会連合には、現在 22 の関連学会が加盟しています。本ニュースでは、順次、加盟学会の会員の方から当該学会の近年の動向を含めた紹介をしていただきます。今回は、日本子ども家庭福祉学会、日本保健医療社会福祉学会について紹介していただきます。

●日本子ども家庭福祉学会●

澁谷 昌史（日本子ども家庭福祉学会）

「日本子ども家庭福祉学会」は、子ども家庭福祉に関する研究及び実践の交流と協力を促進し、子どもと家庭の福祉に寄与することを目的とする学会です。1999年5月に高橋重宏先生（故人）を代表として設立が宣言され、翌年6月、第1回全国大会開催にあわせて行われた総会に会員希望者約250名が出席し、活動を本格化させました。

学会が胎動し始めた1990年代は、少子化や児童虐待問題に象徴される「子どもを産み育てにくい社会」が顕在化する時期と重なります。戦後の児童福祉保障のあり方が批判的に捉えられ、子どもや子育て当事者のウェルビーイング（個の尊重・自己実現）を促進するための制度やソーシャルワーク実践について研究・議論する場、子どもの意見を社会的に代弁するために子ども家庭福祉関係者が一堂に集う場が設けられた意義はきわめて大きなものでした。それ以来、会員相互の出会いと高め合いを大事にしながら、全国大会と機関誌刊行を学会活動の2本柱として活動を継続し、現在は会員数500名を超える学会にまで成長しています。

毎年、当学会を舞台として多くの研究発表がなされていますが、子ども家庭福祉学への社会的期待に応えるためには、もっと多くの、もっと実証性の高い、もっと革新的な学術研究成果を社会に発信していくことが必要です。そのため当学会では、数年前から、民間団体が実施する試行的取組を対象とする調査研究に研究費の助成を行うようにしました。有難いことに、この取り組みに賛同する会員からの寄付もあり、同事業はさらに拡大実施されていくことが見込まれています。また、機関誌掲載論文のウェブ公開も推進することを決定し、会員の行った研究が広く社会に役立てられるようにもしました。

会員個々の研究を支援するだけではありません。全国大会とは別に、学会の意義や役割を見直す機会も設けています。2015年には、社会的養護を経験した当事者4名を招いてパネルディスカッションを開き、子どもたちの声を聴き、子どもたち自身が声をあげることのできるシステムを作る意義について学ぶ機会を設けました。翌2016年には、児童福祉法の大きな改正があったことを受け、医師や弁護士の方にも登壇いただきながら、「新たな子ども家庭福祉のあり方」をめぐる意見交換を行いました。学会創設20周年にあたる年にもシンポジウムを開催し、「家庭支援を強調すれば、子どもの福祉保障を私的責任に押し込めることになりかねない」との意見があることに鑑み、保護者や家庭を前提とした養育観・養育理論に根差した制度・実践について議論しました。

今後も、定例的な活動に加えて、子ども家庭福祉に関する各種企画を継続していく予定です。専門分野の枠を超えて、多くの方たちに関心を持っていただくことが学会の力になります。是非、「日本子ども家庭福祉学会」にご注目ください。

日本子ども家庭福祉学会ホームページ

<http://www.jscfw.info/>

●日本保健医療社会福祉学会●

高山 恵理子（日本保健医療社会福祉学会）

本学会は、保健医療分野の社会福祉・ソーシャルワークの学会として、この分野の社会福祉学の確立、実践・研究の発展に寄与することを目的に、1991年に日本医療社会福祉学会として創設されました。その後、2019年に一般社団法人化したしましたが、その際に、近年の地域包括ケアの潮流の中、医療から保健医療へのより広い視野を持つ必要から、現在の名称である日本保健医療社会福祉学会といたしました。現在、約300名の会員によって、年1回の学会大会、学会誌の発行をはじめとして、学会セミナー開催等の活動を行っており、学会ニュースを年3回発行しております。

本会の特徴は、保健医療分野のソーシャルワーカーと研究者との協働によって、実践の重要性ということを共有し、実践につながる研究を重視している点です。このようなスタンスが表れている特徴ある取り組みとして、学会創設当初より、学会大会に「事例部会」を設けていることがあります。事例は、実践における「核」ともいえるものですが、この実践現場の事例に丁寧に向き合い、研究方法論やソーシャルワークにおける本質的概念等について議論しています。また、病を持つことが人の生活や人生に与える影響の大きさ、病が社会に与える影響の大きさを認識する中で、人間や社会への洞察を深めつつ、個から社会につながる実践・研究への視座を広げることの重要性から、社会福祉学にとどまらず、文化人類学、社会学、脳神経医学等の周辺領域の研究者・実践者を講師としてお招きし、講演を持っています。このような取り組みを通して、支援に関わるものが持つべき視点、果たすべき役割等を問うています。

これまで、本学会では、救急領域におけるソーシャルワークの重要性に鑑み、関連医学会等とともに救急認定ソーシャルワーカー認定機構の設立に携わり、現在も、同機構の構成団体としての役割を担っています。また、現在、学会のプロジェクトとして、医療ソーシャルワーカー資料集の編纂に取り組んでおりますが、来年度中には出版できる見通しが立ちました。また、「臨床推論」についてもプロジェクトを組み、臨床の知を可視化することに取り組んでおります。

新型コロナウイルス感染症が終息の兆しが見られない中で、保健医療分野のソーシャルワークにおいては、これまでとはまた異なった課題も出てきております。これらの課題に向き合うことができる実践基盤を積み上げていくことに、学会として今後も取り組んで参ります。

日本保健医療社会福祉学会ホームページ

<http://jsswh.umin.jp/>

4. 2022年度補助金制度のご案内

2017年度に創設された補助金制度を2022年度も実施いたします。なお、2021年度より補助の対象を講師（非会員）の旅費に限定せず、「必要となる経費の一部」に拡大することが総会で承認されました。詳細につきましては日本社会福祉系学会連合 HP の下記ページをご覧ください。

→ <http://jaswas.wdc-jp.com/about/subsidy.html>

5. 加盟学会一覧

社会事業史学会 日本介護福祉学会 日本家族療法学会 日本看護福祉学会
日本キリスト教社会福祉学会 日本子ども家庭福祉学会 日本在宅ケア学会
日本司法福祉学会 日本社会福祉学会 日本社会福祉教育学会
日本社会分析学会 日本職業リハビリテーション学会
日本精神障害者リハビリテーション学会 日本ソーシャルワーク学会
日本地域福祉学会 日本福祉介護情報学会 日本福祉教育・ボランティア学習学会
日本福祉文化学会 日本仏教社会福祉学会 日本保健医療社会福祉学会

日本社会福祉系学会連合事務局
日本社会福祉学会事務局内
〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5
アカデミーセンター
TEL:03(6824)9385 FAX:03(5227)8631
Mail: union-jssw@kokusaibunken.jp
<http://jaswas.wdc-jp.com>

日本社会福祉系学会連合補助金制度要項

2017年5月28日 施行

2021年5月30日 改正

1. 日本社会福祉系学会連合の加盟学会が活性化することを目的とし、毎年6月1日～翌年5月31日の期間において、外部の専門家（非会員）に講演等を依頼する場合の旅費または講演等の開催に際して発生する経費の一部を補助する。
2. 補助の対象となる講演等の開催にあたっては、大会、シンポジウム、研修会等とし、補助金の額は、一回5万円を限度とする。
3. 補助金の申請を希望する学会は、所定の「日本社会福祉系学会連合補助申請書」に必要事項を記入し、『大会等プログラム』あるいは『大会等プログラム』（案）※を添えて、当学会連合事務局宛に提出し申し込む。
4. 補助金を受ける学会は毎年5学会を限度とする。
5. 補助金を受ける学会の選定および補助金額は、講演内容や補助を受けた回数などを勘案して、運営委員会で協議し決定する。
6. 補助金を受けることが決まった学会は、「日本社会福祉系学会連合経費精算書」を領収書と共に当学会連合事務局宛に提出する。
7. 当学会連合事務局は受理した「経費精算書」を確認した後、速やかに当該学会が指定する口座に補助金を振り込む。
8. 補助金を受けた学会は、大会等の開催後に報告書（報告記事）を提出し、学会連合の広報媒体に掲載、掲示について承諾するものとする。
9. 本制度は単年度制度であり、毎年総会前に開催される運営委員会において、決算状況に鑑みて次年度実施の可否を決定する。
10. この要項を変更するときは、総会の議決を経なければならない。

※募集期間に大会が行われた場合は『大会等プログラム』を、募集期間後に大会等が行われる場合は、『大会等プログラム』（案）を提出してください。

年 月 日

日本社会福祉系学会連合補助申請書

学 会 名	
代 表 者 名	
大会等日時	
場 所	
目 的	
申 請 額	円
申請額の根拠	

*大会等プログラム（案）を添えて、ご申請ください。

申請学会名 学会印

代表者名 印

連絡先（ご担当者名 ）

連絡先住所

TEL :

e-mail :